



2023年度 第27期介護教員講習会
「学生指導・カウンセリング」
 シラバス

近藤 卓

健康教育学者
 日本ウェルネススポーツ大学 教授
 日本いのちの教育学会 理事長



1. 講師紹介

近藤 卓(こんどう たく)

日本ウェルネススポーツ大学 教授
 日本いのちの教育学会 理事長
 日本学校メンタルヘルス学会 理事

東京大学大学院教育学研究科博士課程満期退学。

専門は健康教育学・臨床心理学。博士(学術)。

高等学校教諭(10年)の後、東海大学、山陽学園大学そして現任大学などで大学教員として研究と教育に従事するかたわら、臨床心理士として中学校・高等学校でのスクールカウンセラー(35年)など学校教育の場での経験も豊富。

近藤卓の主な著書

- 『ありのままの自分~大人の自己肯定感を育てる~』エイデル研究所、2023
- 『PTGと心の健康~傷つきを持った存在として生きるために~』金子書房、2022
- 『誰も気づかなかった子育て心理学』金子書房、2020
- 『いじめからいのちを守る』金子書房、2018
- 『子どもの心のセーフティネット』少年写真新聞社、2016
- 『乳幼児期から育む自尊感情』エイデル研究所、2015
- 『基本的自尊感情を育てるいのちの教育』金子書房、2014
- 『子どもの自尊感情をどう育てるか』ほんの森出版、2013

近藤卓の主な著書

- 『PTG 心的外傷後成長』金子書房、2012
- 『二十歳までに考えておきたい12のこと』大修館書店、2012
- 『自尊感情と共有体験の心理学』金子書房、2010
- 『死んだ金魚をトイレに流すな』集英社新書、2009
- 『いのちの教育の理論と実践』金子書房、2007
- 『お父さんは子どもを守れるか』日本文教出版、2007
- 『「いのち」の大切さがわかる子に』PHP研究所、2005
- 『いのちの教育—はじめる深める授業の手引き』実業之日本社、2003

2・1. 「学生指導・カウンセリング」への招待



この授業では、基本的な人間心理の理解を踏まえて、学生指導のための知識や技法を学びます。その際、とりわけカウンセリング的な対応の理論と技法に重点を置きます。

カウンセリングは、人と人の関わりによって成立しますから、自分自身で体験的に身につけなければ十分な学習ができただとは言えないと考えられます。しかし、人と人の関わりは、その時その時の一つ一つが特殊で、同じことは2度と再現されないとも考えられます。

2・2. 「学生指導・カウンセリング」の学びへの招待



そこで結局のところ、理論と技法の基礎を理解することで、実際の場面で応用することを目指したいと考えています。

学生指導やカウンセリングに限らないと思いますが、人と人の関わりに限って言えば、理論と技法についてのしっかりとした基礎を前提としつつ、それを応用する場面では、感受性と想像力がものをいうのではないかと考えています。

豊かな感受性と想像力を支える、柔らかな心と身体を育む時間を、皆様と共有したいと思っています。

3. 授業時間

1月21日（日）9時20分～16時40分

2月 4日（日）9時20分～16時40分

2月10日（土）9時20分～12時30分

4. 授業実施方法

Zoomでの開講。

5. 担当講師とのコミュニケーション

授業時以外には、電子メールで事務局を通して行います。

6. メインテーマ

学生指導とカウンセリングにとって基礎となる理論と方法

7. キーワード

学生指導、カウンセリング、臨床心理学、コミュニケーション、人間関係

8. 学習の目的

臨床心理学、社会心理学、教育学などの領域における様々な知見を援用しつつ、学生指導とカウンセリングに関わる理論と方法の基礎を、理解し活用できる力を身に付けること。

9. 達成課題

この科目は、いわゆる座学のみで目的を達成することはできません。目的達成のためには、本来1対1でのロールプレイや、小集団でのグループ・ディスカッション、さらにはクラス全体での口頭発表など、様々な形態でのコミュニケーションを通して学ぶことが必要になります。オンラインでの授業ではありますが、できる限りの工夫をして、単なる座学で終始しないようにしたいと考えています。

10・1. 授業の方法

この科目では、単なる知識として理解することにとどまらず、それを実際に使えることを目指しています。そのために、授業ではできるだけ対話的な活動や、参加型学習や課題解決型学習などで、具体的な技術を身につけていただけるように支援します。ただ、zoomでのオンライン形式の授業のため、対面の授業に比べれば大きな制約がありますが、できる限り上記の形に近づけることを試みたいと考えています。

10・2. 授業の方法

そのための方策の一つとして、1日の授業が終わるごとにリアクション・ペーパーを提出していただきます。そこには次の3つの項目を記載します。①授業の要点、②授業の感想、③質問。次の授業日の冒頭で、特に③の質問に答える形で、双方向型のまさにコミュニケーションを実現したいと考えています。また、2回に一度の授業後にはミニテストを実施します。これらは、授業の振り返りをするとともに、授業の重要な部分を確認し理解を深め、かつ知識を定着する役割を果たすことを狙っています。

11. 教材・テキスト

テキストは指定のものはありません。参考図書は、授業時に適宜ご紹介いたします。

12. その他教材

授業では必要に応じて、印刷教材を配布し活用します。

13. 他の授業との関連（準備学習の内容）



他の授業としては、「コミュニケーション技術」、「心理学」、「教育心理学」などが、特に関係の深い授業科目です。

14. 成績評価の方法・採点基準



授業時の質問などの授業への参加度の評価20%、2回に1回の頻度で全5回実施する「ミニテスト」の評価20%、授業最終日に提示するレポートの評価60%とします。

15・1. 毎回の学習予定と主題【第1日】



① 1月21日（日）1限；心をどう理解するか

自己紹介。理論から応用へ。どこを見るか。多面性と歴史性など。（講義）

② 1月21日（日）2限；心と健康

向き合う関係と並ぶ関係。コミュニケーションと心の健康。（講義+ミニテスト①）

③ 1月21日（日）3限；いじめと不登校

いじめや不登校の実態。それらの問題の解釈や対処方法。（講義）

④ 1月21日（日）4限；心の病理

心の低温やけど、自殺・自死、うつ、統合失調症、PTSD、PTG。（講義+ミニテスト②+リアクションペーパー①）

15・2. 毎回の学習予定と主題【第2日】



⑤ 2月4日（日）1限；カウンセリングの理論

来談者中心療法、精神分析療法。（講義とビデオ「クリニカル・コミュニケーション」視聴）

⑥ 2月4日（日）2限；カウンセリングの実際①

来談者中心療法の実際例を見る。（講義とビデオ「グロリアと3人のセラピスト」視聴+ミニテスト③）

⑦ 2月4日（日）3限；カウンセリングの実際②

カウンセリングの基本的な考え方と流れ。（講義とビデオ「カウンセリング」視聴）

⑧ 2月4日（日）4限；事例研究①

事例「グレーテル」の事例記録を書き、事例を解釈する。（講義とビデオ「昔話法廷」視聴+グループ討議と発表+ミニテスト④+リアクションペーパー②）

15・3. 毎回の学習予定と主題【第3日】



⑨ 2月10日（土）1限；事例研究②

事例「マキコ」の事例を解釈し理解する。（講義+グループ討議と発表）

⑩ 2月10日（土）2限；学生指導とカウンセリングの課題

学生指導とカウンセリングにおける現状と課題。（ロールプレイ+意見発表+科目終了のまとめテスト+リアクションペーパー③）

16. ホームワーク

テキスト（いわゆる教科書）を指定しておりませんので、事前に該当箇所を通読して疑問点を整理しておくなどの予習はできませんし、関連図書を自ら探して読んでおくなどの方法は若干敷居が高いように思われます。そこで、ホームワークとしては復習的な活動が主になります。参考図書として複数の書籍や映像資料などを授業時にご紹介いたしますので、そうした文献等を参照していただくことが、授業内容の理解を深めることに役立つことと思います。

17. オンライン学習での学び方

全回出席は前提となりますが、共に学ぶもの同士のコミュニケーション、教員とのコミュニケーションなどを通して、積極的に授業に参加し、学習内容を生きた技術として身につけ理解するような、積極的な姿勢が望まれます。